

研修名	ひきこもり支援実務者連絡会 「8050問題の支援を考える ～地域包括支援センター・いのちをつなぐネットワークが 支援を行った事例を通して～」
話題提供者	北九州市小倉南区役所のいのちをつなぐネットワーク係長 大浦 隆 氏 北九州市小倉南区役所地域包括支援センター 沼 麻美 氏 北九州市小倉南区役所地域包括支援センター担当係長 福田 ルミ 氏
助言者	小倉記念病院 緩和ケア・精神科部長 精神科医 三木 浩司 氏
開催日時	平成31年1月23日(水) 18:30～20:30
開催場所	北九州市総合保健福祉センター(アシスト21) 5階 精神保健福祉センター セミナー室1
参加者数	28名 (内訳:保健師、養護教諭、精神保健福祉士、支援員、相談員など)
研修の内容等	ひきこもりの問題に関わる支援者が一同に会し、情報交換を行うことで、連携のためのネットワークの構築や互いのスキルアップを目指すことを目的として、連絡会を開催するもの。 いのちをつなぐネットワーク係と地域包括支援センターが関わった事例を提供していただき、内容や支援について参加者の方々にグループ討議を行った。 グループ討議では事例についてだけでなく、各機関の役割や支援の中で困難だと感じていることについても共有し、意見を出し合った。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者や家族が相談しやすい環境を作っていくためには、多種多様な関係者や長期にわたって支援をする人が必要だと感じました。 ・相談者だけでなく、支援者同士も気軽に相談し合えるような関係性づくりが大切だと思いました。 ・8050問題を発信していくことで、当事者や家族が自身の問題を考えたり、相談支援につながったりするきっかけとなると思った。 ・民生委員などの地域にいる支援者をどう活用していくかが重要であると感じた。 ・各機関の機能や役割、そしてそれぞれの機関の悩みを知ることが出来てよかった。 ・家族をトータルに支援するという大きな課題が話し合いの中で出ましたが、それを乗り越えるために支援者同士の気楽に相談し合える関係性を作り、その方々と協力していきたいと思います。